

国際第一委員会

～米国・カナダ・中南米 調査・研究(計41名体制)～

最新のアメリカ知財動向を配信！

WG活動テーマ：米国知財に関する調査・研究

WG1: US101条審査の実態調査

審査官向けガイダンス(2019PEG)が101条の審査にどの程度浸透しているか？

WG2: 再発行特許の活用の提言

再発行特許の審査の実態と特許権者が留意すべきこと

WG3: ローカルパテントルール

主要な米国連邦地裁のローカルパテントルールが与える訴訟地戦略および訴訟対応への影響

WG4: 公然実施に関する調査研究

近年の判決からon-sale、public-useに基づく無効の抗弁の可能性を探る

WG5: IPRと他の手続きとの関係

先行する他のIPR又は訴訟手続との関係で審理開始されないケースとは？

急募！

「カナダ・中南米」研究希望者求む！

その他活動内容（今年度実績）

- Kappos元USPTO長官ら一行との意見交換会(6月)、ブラジルとアルゼンチンの審査官との意見交換会(9月)
- ユーザー団体(AIPLA)との会合(4月)、USPTO・日本ユーザー団体合会@ワシントンD.C.(10月)
- 日米「米国特許をうまく取得する方法」、「米国特許侵害訴訟実務マニュアル」研修実施(随時)
- 知財管理誌「外国特許ニュース」執筆(毎月)